

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	(株) クレアメディコ	代表者	内田 邦彦	法人・事業所の特徴	「医療・介護の原点はやさしさ」 上質な医療・介護を提供し、信頼され、選ばれる「さわやか苑」を目指し、地域医療・介護に貢献します。
事業所名	多機能ケアセンター さわやか苑 長倉	管理者	岩崎 智美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1 人	1 人	1 人	人	2 人	1 人	人	2 人	人	8 人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・期の始め（上期・下期）に事業所目標や取組みを共有し職員全体で実施していく。 ・班構成は継続し、個々に役割を持った中で目標・目的に対し具体的に計画を立て取り組んでいく。主任、班長を中心に取り組みの周知や計画の進捗を確認しながら毎月評価していく。 ・毎月の月例会議で取り組みの進捗状況報告を通し班活動がサービス評価と連動している事を職員に理解してもらう。	・上期、下期と半期ごとに月例会議を利用し事業所目標や取組みの共有を図っていた。また、職員の入れ替わり等があった時はその都度説明できていた。 ・主任、班長を中心に個々に役割を持った中で班活動が実施できていた。昨年と引き続いていて、計画や評価は定着できていた。役割を通して職員の中ではやりがいを見出す事ができた。 ・サービス評価については認識に職員格差があり評価の遅れがあった。年度初めより意識して動けるようにしていく。	・事業所全体で取り組まれている。改善計画とその周知も意識的に取り組まれている事が伺えます。 ・統一した対応を動画や写真を活用する事は良い事だと思います。 ・日々の業務に追われている中自己評価と改善計画を策定されている。 ・職員の方が自分の仕事に真剣に振り返っている事がわかりました。 ・事業所全体で自己評価に取り組んでおり、改善に向けて意識されている事がわかりました。	・班活動は継続し、主任、班長を中心に個々に役割を持ち実施していく。毎月月末に評価し全職員へ周知し全員で取り組んでいく。 ・サービス評価の主旨を全職員が理解した上で取り組んでいけるよう5月に改めて日々の取り組みと連動している事を認識してもらう。また、職員の入れ替わり等があったら都度説明する。
B. 事業所のしつらえ・環境	・基本的な感染対策は継続し感染症が発生した際はマニュアルに添って迅速に対応し感染拡大を最小限に留める。また、日頃からご利用者様や職員の体調確認を徹底し早期発見に努める。 ・事故防止や感染対策の観点から苑内の整理整頓は常時意識し整えていく。 ・広報誌の工夫や見学の機会を作ったり引き続き掲示板を活用し苑に入りやすい雰囲気作りをする。	・体調確認の早期発見に努め、感染症の拡大を防ぐことができた。継続的に基本の感染対策を職員と確認し合い感染拡大を防いだ。 ・環境整備係を中心に苑内の整理整頓に努めた。また、毎月1回月例会議後に全職員で苑内清掃を実施日頃手の届かない所を全員で取り組めた。 ・毎月、広報誌発行、苑での様子をフロアと玄関に掲示し温かい雰囲気作りを心掛けた。	・利用者に配慮した環境になっていると思います。 ・利用者の方が過ごしやすい環境になっていると思います。 ・最初に伺った時は狭いと感じましたが何度か訪れてみるとそれほど感じなくなりました。ただ、レクなどの活動は大変かも。 ・ご家族様や地域の方が入りやすいために工夫している事があれば聞きたいです。	・リスク班の環境整備係を中心に事故防止、感染対策の観点から苑内の整理整頓に努める。 ・苑内はレクの様子や作品作り等日々の様子が見えるよう掲示板を活用する。苑外も定期的な雑草の処理、花壇作りを行う。 ・見学対応は都度受け付け、ご家族様だけでなく地域の方を招く等、希望がある方に案内する。

C. 事業所と地域のかかわり	・例年同様、町内の活動には積極的に参加させて頂く。 ・雑巾プロジェクトの活動を継続し年2回（6月と11月）近隣の学校への寄付を通しご利用者様と地域の交流を図る。 ・さわやか苑新聞は毎月作成し、取り組みや苑での様子を知っていただく。また、地域の方へは回覧板やコミセンに広報誌を置かせて頂き地域の方へも事業所取り組みを発信し知っていただく。 ・広報誌を通し地域の方の介護相談などのお困り事があれば応えていく。	・町内の活動案内があった際には積極的に参加できていた。 ・今年度は、6月と11月の年2回、近隣の小学校へ雑巾贈呈に行く事ができた。ご家族様からもタオルを寄付して頂き全体で取り組めた。 ・毎月発行していた広報誌はご家族様には案内できていたが、地域の方に案内ができなかった為、今後の課題として来年度の取り組みに活かす。	・さわやか苑が地域でどのような存在かはわかりませんが幼稚園や小学生の希望するグループを受け入れてボランティア活動をやっても良いのではないのでしょうか。雑巾贈呈は良いと思います。 ・小学校との交流や町内会の活動に参加され地域との関りを持たれている。継続されると良いと思います。 ・広報誌を活用し情報発信している。 ・「地域連絡会への参加」や「地域の方からの意見や苦情を運営に反映しているか」の自己評価が低いので改善できるようにして頂きたいです。	・町内の活動への参加、雑巾プロジェクトの活動は継続し地域の方との交流を図る。 ・地域のコミュニティーセンターに職員が出向き地域の方との関係性を深めていく。交流を通し困り事や介護相談等自分達ができる事があれば積極的に関わっていく。 ・さわやか苑新聞は毎月作成し、取り組みや苑での様子を知っていただく。また、地域の方へ回覧板やコミセンに広報誌を置かせて頂き事業所取り組みを発信し知っていただく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み	・引き続きご利用者様の在宅生活に必要な地域資源や地域との関りをご家族様や地域の民生委員さんと情報共有し、初回アセスメント時やカンファレンス時に必要な情報を共有していく。	・地域資源に関する情報収集や意識が乏しかった。ご利用者様の地域や施設周囲の資源について理解していく必要がある。	・利用者の地域に出向く行事はありがたいと思います。 ・利用者の地域行事の参加は自己評価から読み取る事ができました。 ・地域の方を交えた会議は推進会議のみでしょうか。 ・活動報告から外に出かけるための企画をされ実施されている。参加者からも喜ばれている事が伺えます。 ・近くのスーパーなどでも良いですから買い物の体験をさせてほしいです。 ・地域の中にとっても良い「資源」があると思うので活用されると良いと思います。	・カンファレンス等を通しご利用者様の地域の地域資源や施設周囲の資源について考える。アセスメントをする中でそのご利用者様に適する地域資源を活用していく。 ・イベント係を中心に地域資源を活用した外出レクを企画する。また、より多くのご利用者様が参加できるよう計画する。

E. 運営推進会議を活かした取り組み	・運営推進会議開催は計画通りに進め、変更等がある時は早めにお伝えする。 ・運営推進会議では事業所報告だけでなく事例検討等も行い、様々な視点からご意見やアドバイスを頂き実務に活かしていく。	・運営推進会議の案内がいつもギリギリになってしまい迷惑を掛けてしまった。委員さんの都合もあるため1ヵ月前には案内する。 ・会議内で頂いたご意見やアドバイスは事業所に持ち帰り他スタッフにも共有した。年間を通し職員が参加できなかった。	・会議の報告や意見交換から事業所の取り組みに繋がっているとされています。 ・推進会議では事業所の取り組みを解りやすく説明して下さっていると感じています。 ・開催の変更は早めに連絡いただけるとありがたいです。 ・地域との連携には欠かせない町内会長や民生委員の方が参加しやすい日程の調整をした方がよいと思う。 ・会議で出された意見や感想など事業所内スタッフに共有してもらう事で地域との関りについて意識が高まると思います。	・運営推進会議に多くの委員さんが参加できるよう1ヵ月前に案内を出す。出欠を確認し調整が必要な場合は3週間前に決定し再度案内する。 ・運営推進会議で頂いたご意見やアドバイスは会議後、他職員にも伝達し皆で地域に関わっているという意識をもつ。また職員も参加できるように勤務調整する。
F. 事業所の防災・災害対策	・非常災害時の備えは常に整えて置き、備品の点検やマニュアル等の更新は月1回最新のものにする。 ・災害発生時の職員への緊急連絡網はLINEに切り替え短時間で多くの職員に共有できる方法に変更する。 ・災害時、町内の方とも協力体制が図れるようにお互いの防災訓練に参加したり、情報交換を行っていく。	・非常災害時のマニュアルや備品、緊急連絡網等は定期的に見直しを行っていた。 ・非常災害時の役割分担について各担当職員への周知が不足していた。改めて説明が必要。 ・地域の避難訓練には参加できたが、今年度も事業所の訓練に地域の方を案内できなかった。	・地域の防災訓練に参加しており良い取り組みだと思いました。 ・次回は事業所の防災訓練に参加または見学させていただきたいです。 ・事業所の様子を知って頂く機会となるので事業所での防災訓練に近隣の方に参加してもらうと良いと思います。 ・最近は自然災害が多いので日頃からの対策をお願いします。	・非常災害時の備えは物品の不備や期限が切れていないか定期的に確認、緊急連絡網（LINE）も職員の入れ替わりの都度変更しご利用者様情報含め最新情報をそろえておく。 ・災害時、町内の方とも協力体制が図れるように情報交換を行っていく。施設の避難訓練に参加していただく機会を作る。